兵庫県福崎町における基本計画の概要

計画のポイント

地域に根ざした産業を活用したものづくりを支援すると同時に、成長性の高い新事業への参入を支援するなど、町内投資の強化を図り、生産性の向上、雇用の量・質の確保、将来産業の育成、労働環境の改善などを促進する。

また、平成３１年度に供用予定のＪＲ福崎駅前と、歴史・文化、近年は妖怪といった様々な観光資源を有している辻川界隈とを結ぶ新たな観光交流軸を中心に観光入込客を拡大し、交流人口の増加を図るとともに、観光資源を活かした飲食・宿泊業等、これまでになかった観光産業の分野を福崎町の強みのある産業として後押しする。

さらに、相乗効果を高めるために、物流関連産業を後押しし、地域産業の活性化を図る。

促進区域

兵庫県福崎町

経済的効果の目標

１件あたり平均5,380万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を5件創出し、これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.5倍の波及効果を与え、促進区域で40,350万円の付加価値を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件１：地域の特性を活用すること】

①福崎町における化学工業、電気機械器具製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、金属製品製造業、食料品製造業等の産業集積を活用した成長ものづくり分野

②福崎町における柳田國男生家や大庄屋三木家、七種の滝、七種山等の名所史跡及び辻川山公園等の観光資源を活用した文化・観光まちづくり分野

③福崎町における中国縦貫自動車道と播但連絡道路が交わるインターチェンジや国道３１２号等の交通インフラを活用した物流関連産業分野

【要件２：高い付加価値を創出すること】

・付加価値増加分：5,380万円超

【要件３：いずれかの経済的効果が見込まれること】

●売上：2%以上増加　●雇用者数：1%以上増加

●雇用者給与等支給額：3%以上増加

制度・事業環境の整備

オープンデータの推進、相談窓口の対応、企業誘致活動の推進、兵庫県等の立地インセンティブの活用による企業立地の促進など

地域経済牽引支援機関

公益財団法人ひょうご産業活性化センター、兵庫県立工業技術センター、福崎町商工会、町内金融機関（株式会社みなと銀行、株式会社但馬銀行、但陽信用金庫、播州信用金庫、姫路信用金庫）

《促進区域図》

<辻川山公園の妖怪>

計画期間

計画同意の日から平成35年度末日まで